

○「農家以外も参加し市街化農地の初会合」

(京都府宮津市 宮津地区連絡会議)(平成31年度第9回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 令和2年2月2日(日) 13:00~15:30
- 場 所: 宮津市辻町集会所
- 出席者: 委員2人、協力員・農家組合員11人
市1人、事務局1人
※委員2人、委員以外13人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役

2 地区の特徴、状況、課題

宮村;耕作面積14ha、緊急課題は1.4haの遊休農地の対応(山手は遊休農地拡大傾向、平場は家庭菜園希望者あり)
辻町;耕地3.5ha 機械所有者2名 / 滝馬;耕地8.5ha 乾燥機9台 / 皆原;中山間直払の取組 50a遊休の恐れ
山中;イノシシ被害大 まとめ役不在 / 波路;プラン作成済(新規就農) / 獅子崎・波路町;高齢化。波路が耕作

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 辻町の意見交換会
 - ・辻町は市街化地区で、周辺は住宅やアパート、スーパーなどに隣接した農地
 - ・地区の農地は3ha。うち、1.5haは不在村地主
- 意見交換・協力員から:辻町と杉末合同で今後を考えていきたい。皆さんの意見を聞きたい
 - ・住環境に農地の役割は大きい。土壌も良く水利も問題ない。栽培管理の時に帰郷(京都市在住)
 - ・92歳の父がオペレーターとして機械所有。父が辞めると自分は継承できないので委託をしたい 等
- 引き続き話し合いを継続することになる。方向としては基幹作業の受委託や共同作業、市民農園等



4 活動結果

- 情報・意見交換 2 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援